



若松海保だより



新年あけましておめでとーうございます。若松海上保安部長の安里(あさと)です。皆さまには、日頃から海上保安庁業務に対するご理解と多大なるご支援をいただき、この場を借りて厚く感謝を申し上げます。ご存じのとおり、海上保安庁の活動する主フィールドは海であり、我々の活動が皆さまのお目に触れる機会も少ないことから、コロナの感染拡大の状況も踏まえつつ、今後も恒例の洞海湾クルーズや北九州航空基地見学会などを通して、皆さまに当部の活動をご紹介する機会を設けていきたいと考えておりますので、今年も引き続きご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

若松海上保安部長 安里 匡

若松海上保安部では、海上保安友の会の皆様に当部の活動状況をより一層ご理解していただくため、今後皆様に年4回程度を目標として情報誌を配布することとしました。情報誌の内容としては、訓練、行事等の実施状況のほか、イベント開催状況及び開催予定等について、お知らせすることとしています。

新年のご挨拶



友の会会員との交流

コロナ感染による緊急事態宣言が解除された10月30日(土)友の会の皆様との交流の一環として、当部の業務の取組状況の紹介や巡視艇による洞海湾クルーズ等を楽しんでいただきました。今後も各種イベントを開催していく予定です。イベント終了後、お土産として「塩竈海保カレーせんべい」をお持ち帰りいただきました。



会員に送付したグッズ等



洞海湾クルーズ後の集合写真



イベント終了後の集合写真

「夢授業」参加

「夢授業」とは、一般社会で働く職業人を小学校派遣し、子供達と「どのような職業か」、「働くことの意味」について語り合うプログラムで多くの子供達に「海上保安官を知っていただくため、昨年からは当部も参加することになりました。」

参加に至ったのは、友の会会員様（元教師）によるご紹介が、きっかけとなりました。

ありがとうございました。



二島小学校「夢授業」参加中の管理課職員



職業人の紹介「夢授業」

学生募集活動



より優秀な職員を確保するため当部では、年間を通して学生募集活動を行っています。

特に7月は、管内各高校を集中的に訪問して受験案内やパンフレット等の配布を行いました。

受験者も年々減少傾向にあるため、友の会会員皆様のご親族或いはお知り合いの学生さんがおられるのであれば、是非受験を勧めただけければ幸甚です。



採用試験合格者に対する業務説明



学生募集として高等学校訪問時の説明

職場体験学習

当部では、県立「若松高校」と「八幡中央高校」の学生を受け入れ、職場体験学習を行いました。業務説明、施設見学のほか、体験航海等を実施するとともに、海保大、海保校の学生募集も合わせて行いました。

結果、八幡中央高校から6名が海保校を受験し、その内2名が二次試験を合格しております。



職場体験学習で巡視艇に乗船中の学生

若松の海上保安部、警察、消防を入れた作品には
特別参加賞
 一輪の賞に
 かわえて！
 オリジナルグッズを無料でプレゼントします！
スケッチ大会開催！

若松海上保安部 10月2日(土) 9:30-11:30 旧ごんどう小艇 前	若松警察署 10月13日(水) 10:00-12:00 若松警察署 敷地内	若松消防署 10月27日(水) 10:00-12:00 若松消防署 敷地内
--	--	--

※申込先：若松区公民館 電話：0954-821-1111 受付時間：9:00-17:00



巡視艇のスケッチに協力

「第3回あんたの若松 作品コンクール」

10月2日(土)「第3回あんたの若松作品コンクール」の絵画作成のため、当部が所属艇のスケッチに協力しました。

当日のスケッチ大会には、小学生22名が参加し、スケッチの合間を利用して制服の試着、巡視艇船内の見学会を行いました。

12月25日(土)の表彰式では、「若松海上保安部長賞」を贈呈しました。

若松区長洋上視察

10月19日(火)若松区長に巡視艇に乗船していただき、響灘、洞海湾の視察のほか、当庁の業務説明を行いました。

昨年3月末に北九州市と締結した「北九州市との包括連携協定」に基づき、今後の青少年育成等に関する意見交換も行いました。



若松区長による洋上視察

洋上風力発電所施設 等点検立会

8月18日(水)ひびき灘沖浮体式洋上風力発電所の現場に赴き、管理者による施設灯点検に立会うほか、響灘洋上ウインドファーム事業に向けた航行安全対策を検討しました。



洋上風力発電所施設の点検

合同パトロールの実施

10月3日(日)洞海地区小型船安全協会及びひびき灘地区小型船安全協会と合同パトロールを実施しました。遊漁中の小型船船長に対して「救命胴衣の着用」「見張りの徹底」等と呼び掛け、リーフレットを配布するなどして、安全運航について指導を行いました。



小型船安全協会との合同パトロール

若松管内「白洲灯台」



白洲灯台

現役灯台の六連島灯台 下関市、角島灯台 同市 部埼灯台 北九州市が重要文化財に指定されました。これらの灯台は、明治初期から150年近く当時のままの姿で航海の安全を守り、光を放ち続けているということと、歴史的価値を評価されました。若松管内には唯一、明治期に北九州市の偉人「岩松助左衛門翁」のご尽力で建てられた「白洲灯台」があります。海上保安庁のYouTubeに白洲灯台の動画を掲載しておりますので、興味のある方はご覧ください。



海事関係功労者部長表彰

7月26日(月)海の日における表彰として、功績のあった海事関係功労者に対して当部部长から感謝状を贈呈しました。被表彰者は、海上保安協会役員、海上安全指導員、海上保安協力員等5名が対象となりました。



海事関係功労者への部長表彰

年末年始特別警戒等出動式

12月10日(金)から翌年1月10日までを「年末年始特別警戒及び安全指導期間」とし、12月14日(火)に出動式を行いました。

同日、九州運輸局福岡運輸支局若松事務所職員と合同で、若戸渡船において「旅客船安全総点検」を実施しました。

点検については、船内及び待合室の救命設備や消火設備のほか、運航マニュアル等を確認し、安全指導を行いました。



若松海上保安部長訓示



若戸渡船の合同安全総点検



巡視艇の出港を見送る海保職員

「われら海岸探偵団」

地域交流として、若松区の海浜清掃活動を月1回実施しているボランティア団体の「われら海岸探偵団」の海岸の環境保全活動に職員も積極的に参加しています。

「われら海岸探偵団」は長年に亘る社会奉仕活動が認められ、昨年、環境美化奉仕団体として「緑綬褒章」を受章されました。



若松トピックス



昭和初期の若松港の様子

若松の歴史

明治34年、官営八幡製鉄所の操業開始に伴い、石炭の需要が益々増加し、若松港は石炭の積出港として大きく発展しました。戦後の石炭景気の最盛期には、洞海湾の入出港船は1日平均2,100隻で、貨物の取扱量として日本最大の港でありましたが、昭和30年代に産業

エネルギーの主流が石炭から石油に移行するにつれ、筑豊の炭鉱は相次いで閉山。これとともに全国1位の座を横浜港に譲ることになりました。

若松の偉人

安川 敬一郎 1849年

～1934年

- 若築建設(株)創業者
- 官営八幡製鉄所の誘致
- (株)安川電機設立
- 九州工業大学設立
- (株)黒崎播磨設立

石炭積出し日本一の若松港を築いた安川敬一郎の「若松築港(現若築建設(株)が製鉄所の操業に必要な八幡港の建設や航路の浚渫に尽力されたそうです。

発行:若松海上保安部
〒808-0034
若松区本町1丁目14番12号
電話 093-761-2497



巖流島

※ イベント開催情報
市中のコロナ感染状況が改善次第
北九州航空基地見学会を実施予定